

平成24年度 自己点検・自己評価報告書

(特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構・
私立専門学校等評価基準 Ver. 3.0 準拠版)

平成25年3月31日現在

森ノ宮医療学園専門学校

平成25年5月1日作成

目 次

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等	1
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	2
1-2 学校の特色は何か	4
1-3 学校の将来構想を抱いているか	5
基準 2 学校運営	6
2-4 運営方針は定められているか	7
2-5 事業計画は定められているか	8
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	9
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	10
2-8 意思決定システムは確立されているか	12
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	13
基準 3 教育活動（鍼灸学科）	14
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	15
3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	16
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	17
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	19
3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	20
3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	21
3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	22
3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	25
3-18 資格取得の指導体制はあるか	26
基準 3 教育活動（柔道整復学科）	27
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	28
3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	29
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	30
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	32
3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	33
3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	34
3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	35
3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	38
3-18 資格取得の指導体制はあるか	39
基準 4 教育成果	40
4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	41
4-20 資格取得率の向上が図られているか	42
4-21 退学率の低減が図られているか	43
4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	44
基準 5 学生支援	45
5-23 就職に関する体制は整備されているか	46
5-24 学生相談に関する体制は整備されているか	47
5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	48
5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	49
5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか	50
5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	51
5-29 保護者と適切に連携しているか	52
5-30 卒業生への支援体制はあるか	53

基準 6 教育環境	54
6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	55
6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	56
6-33 防災に対する体制は整備されているか	58
基準 7 学生の募集と受け入れ	59
7-34 学生募集活動は、適正に行われているか	60
7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	62
7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	63
7-37 学納金は妥当なものとなっているか	64
基準 8 財務	65
8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	66

8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	67
8-40 財務について会計監査が適正に行われているか	68
8-41 財務情報公開の体制整備はできているか	69
基準 9 法令等の遵守	70
9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	71
9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	72
9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	73
9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか	74
基準 10 社会貢献	75
10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	76
10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	78

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は教育の理念を「患者中心の医療を基本に、臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人の育成を目的としています。」と定め、これはそのまま本校の育成人材像である。</p> <p>本校の目的については学則第 1 条により「はり師きゅう師、柔道整復師を養成するために医療専門課程を設置して、はり師きゅう師柔道整復師に必要な理論並びに技術の専門教育を行い、かつ医療人としての人格・教養をたかめ、もって社会の福祉と国民の健康の保持と増進に寄与すること」と定めている。これらの教育理念・目的・育成人材像等については本校 Web ページおよび学校案内等にて学内外に広く周知を行っている。また、学生手帳や小冊子「Cred (クレド)」の配布により、学生および教職員に対し、学園の理念や精神等を常に意識し行動指針とすることを求めている。</p>	<p>本校は、昭和 48 年 3 月 1 日、当時の日本の鍼灸界を代表する 7 人の臨床家によって学校法人森ノ宮学園・大阪鍼灸専門学校として創立された。</p> <p>以来、本校の精神的支柱となってきた建学の精神「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人を育成する」に基づいて、鍼灸文化の根付いた大阪の地で育まれた日本の鍼灸技術の伝統を受け継ぎ、臨床能力の高い卒業生を世に送り続けてきた。</p> <p>また、臨床教育を充実させるため昭和 57 年には、全国でもいち早く附属診療所と附属鍼灸室を併設し、昭和 60 年には卒業教育雑誌「鍼灸 OSAKA」を創刊、その後森ノ宮医療学園出版部を設立し、鍼灸を中心とする学術書籍の発刊等専門教育に関する出版事業を幅広く行っている。</p> <p>また、中国や米国の病院・教育機関との提携により、日本と海外の鍼灸および東洋医学について相互理解の促進を行うなど、伝統医学の継承発展のための数々の取り組みを行ってきた。</p> <p>平成 12 年、学校法人森ノ宮医療学園・森ノ宮医療学園専門学校と改称し、豊かな人間性と確かな技術を持った社会から要請される柔道整復師を養成するため、鍼灸学科と併せて柔道整復学科を開設した。</p> <p>森ノ宮医療学園の学生は、教職員とともに「生命への愛と畏敬」の精神を共有し、日々研鑽に励み、医療あるいは医療人育成に携わる者としての自覚をもって、人格の向上と知識・技術の修得に努めることが求められている。</p>

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	理念・目的・育成人材像は解りやすい表現で明確に定められるべきである。	本校の目的は学則第1条に明記のうえ、学園の理念、精神等についても、明確に定められている。		森ノ宮医療学園専門学校学則 森ノ宮医療学園専門学校 Web ページ (http://www.morinomiya.ac.jp) 小冊子「Cred」
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	座学による授業のみならず、実習、臨床実習を効果的に行い、他校に比して多くの時間を実技、実習に割くことにより臨床実践力の養成に努める。	全国に類を見ない学園附属の臨床実習施設を有効活用し、また効果的な人員配置と協力病院の活用を図っている。	学生数の増加に対応し、教育施設の更なる拡充が望まれる。また柔道整復師養成施設としては、骨折などの急性外傷の患者への対応も望まれ、一般患者の確保も課題となっている。	
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	根本的な理念・目的は時代が変わろうとも変化することはないが、カリキュラムおよび授業内容については、社会情勢の変化に対応していかなければならない。	関係業界団体の代表者等と定期的にカリキュラム、授業内容について協議を行い、学園の理念、精神を達成するために、時代に適した教育内容の見直しを行っている。	鍼灸師・柔道整復師の急激な増加により卒後の進路は開業中心から変化している。今後は、医院や病院など医療機関での鍼灸師・柔道整復師のさらなる活躍を視野に入れた養成課程の編成が必要であろう。	
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	学園の理念、精神等については教職員および学生のみならず、ひろく学外にも周知せられるべきである。	学園の理念、精神等に関しては Web ページ、学生手帳あるいは学園案内等で幅広く公表している。加えて平成 24 年度に全教職員に小冊子「Cred (クレド)」として配布した。	教職員は自ら学園の理念、精神等を把握し、学生および学外に対して説明できるよう絶えず認識することが重要である。	森ノ宮医療学園専門学校学校案内 森ノ宮医療学園専門学校学生手帳 森ノ宮医療学園専門学校 Web ページ (http://www.morinomiya.ac.jp) 小冊子「Cred」

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念・目的・育成人材像は、明確に定められたうえで、本校 Web ページ、学生手帳および学校案内等により学内外に周知されている。また、教職員に対し、小冊子として配布することで、具体的な一人一人の行動の指針となるよう取り組みを行っている。</p>	<p>学園の理念、精神ならびに教育理念等は、学園創立以来変わらぬものとして堅持している。</p>

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

1-2 学校の特色は何か

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	資格取得を最終目標とするのではなく、建学の精神、学園の理念に定めている通り、卒業後、医療現場で活躍できる医療人の養成のための教育を行う。	両学科とも実技・実習を重視した教育を行い、他校に比べて高い技術、知識の教授を行っており、臨床実習も附属診療所や鍼灸院の存在により他校と比べて多くの時間を確保している。 大阪大学歯学部第二口腔解剖学教室のご協力による解剖見学実習は、教授の指導のもと、両学科教員が系統解剖はもとより鍼灸師・柔道整復師の視点から解剖を行うことにより、座学では得られない飛躍的な教育効果をもたらしている。 また、全学生を対象とした解剖学・生理学等のゼミや鍼灸・包帯実技など多くの課外学習時間を確保している。	近年、同業他校においても臨床教育に力を入れており、更なる特色づけ、内容の深化が必要と考えている。 そのためには、附属診療所や鍼灸室での実習時間の拡充や内容の充実を図ることが重要であると考えている。また、新規の校外実習先の開拓も行っていきたい。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校では附属診療所や鍼灸院、さらに「はりきゅうミュージアム」といった施設環境と相俟って、充実した臨床教育を行っている。解剖見学実習や柔道整復学科アドバンスコースにおけるアメリカ研修、正課に加えての解剖学や生理学あるいは実技系などの課外ゼミなどにより、教育内容とその成果も専門学校として大きく水準を上げることができている。	専門学校で附属診療所・鍼灸院、さらに「はりきゅうミュージアム」等の施設を持っているのは本校の大きな特色であり、鍼灸 OSAKA の発行や解剖見学実習もまた本校独自のものである。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	全国的にも大規模校となり、国家試験合格者数はトップクラスとなった。さらに鍼灸師、柔道整復師養成校としてリーダーたる地位を築く。	平成19年に森ノ宮医療大学を開学した。平成22年には附属診療所の移転拡充を図り、また近隣にアネックス校舎を建設した。平成23年には鍼灸学科午前コースを開設させ、大学においては、看護学科、大学院修士課程を設置するに至った。また、平成24年に学園内保育所を開設するなど、学園全体で有機的な組織拡充を図り、さらなる教育施設や内容の充実を目指している。	組織の拡大を図った中期的構想は概ね実現している。今後は優秀な学生の確保に主眼を置いた具体的中期計画と長期構想が必要と考えている。	平成23年度事業報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後の学園の中期計画と長期構想については、校内で目標を定めて取り組み始めており、平成25年度中の策定を目指している。しかし、学校間競争の激化継続に伴い、魅力ある鍼灸師・柔道整復師の養成施設として、学生募集計画などは機に応じた対応が必要である。	

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------	-------	-------

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営については基本的な方針を部門ごとに作成し理事会、評議員会の承認を得て、実施している。</p> <p>運営組織については課長以上の管理職からなる管理運営責任者の会議を年 3 回行い、また、教員組織では兼任教員を含めた職員会議を 8 月、12 月、2 月、3 月の年 4 回程度実施している。</p> <p>また、意思決定について、起案は事業計画に基づいて各担当者（管理職のみでなく）が行い、職制、職位に基づき課長、次長、部長、校長と判断し、決済している。業務の効率、スピード化が重要であると認識している。</p> <p>人事計画は学園法人本部を中心に校長も参加した会議にて決定している。</p> <p>情報システムについては職員すべてが専用のパソコンを持ち、学内 LAN を構築しグループウェアの活用も含め、情報の共有や効率化を図っている。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	理事会にて承認された事業計画に基づき、方針・予算を作成し実行する。	毎年度事業計画書を定め、理事会の承認を受けている。事業計画書に記載のない事業についても、理事会にて協議を行い、学校の目的・目標と乖離がないか精査している。		平成 24 年度事業計画書
2-4-2 学校運営方針は教職員に明示され、伝わっているか	理事会・評議員会の議決事項を管理職に常にフィードバックし、管理職が一般職員に告知する。	学科においては職員会議、学科会議などを、学校全体においては教職共同の部課長連絡会を開催し、情報の共有を図っている。		職員会議議事録 学科長会議議事録 部課長連絡会記録
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	必要とされる規程の整備はもちろん、既に定められている規程についても常なる見直しを行っていく。	寄附行為、就業規則、学則等は言うに及ばず、その他学園諸規程についても整備のうえ、法人本部により管理されている。また、規程の制定ルールについても整備を行い、迅速な規程の制定、改訂を可能としている。	学園も創立から 40 年を経過し、制定年度が大きく離れた規程が併存するため、内容の重複等、整合性について検証が必要となってきた。	学校法人森ノ宮医療学園規程集 森ノ宮医療学園専門学校規程集

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度作成している事業計画書は理事会によって承認されており、この事業計画書によって学校運営方針は定められている。学校運営方針の校内への周知については常に会議や連絡を行い、全教職員が共有できるように努めている。諸規定についても規程集という形で全教職員が常に閲覧できる状態にある。	

最終更新日付

平成 25 年 3 月 31 日

記載責任者

尾崎 朋文

2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	年度ごとに詳細な事業計画を定め、理事会にて承認を得る。	毎年度事業計画書を作成し、理事会にて承認を受けている。 毎年度末には事業報告書を作成し、やはり理事会での承認を受けた後、本校 Web ページで公表している。		平成 24 年度事業計画書 平成 23 年度事業報告書
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	事業計画どおり運営し、計画外の事業についても理事会による承認を必要とする。	年度末の事業報告書の作成により、事業計画書通りの学校運営が行われたか確認している。		平成 24 年度事業計画書 平成 23 年度事業報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年、事業計画書ならびに事業報告書を作成している。事業計画書および事業報告書は理事会にて精査され、学校の目的、目標に合致しているかが検証されている。また、これら計画書および報告書を継続的に概観することにより中期的な事業計画もうかがうことができる。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-6 運営組織図はあるか	組織規程を定めたうえで、運営組織図として明確化する。	学校法人森ノ宮医療学園組織規程にて定めているものを組織図にまとめている。	学園組織図については大学 Web ページにて公表しているが、本校 Web ページには掲載できていない。	学校法人森ノ宮医療学園組織規程
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	組織規程および運営組織図に基づき速やかな意思決定と効率的な運営を目指す。	組織規程および組織図に基づく指示命令系統に則った業務命令および報告の実施を行っている。	組織規程および組織図に基づく意思決定、指示命令が原則であるが、緊急時の対応について今後検討が必要である。	
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	業務分掌規程により業務分掌と責任体制を明確化する。	業務分掌規程に則り、各部署の業務の責任範囲と分担を明確に定めている。	業務分掌と責任は明確であるが、一方でさらなる効率化の観点から意志決定手続の簡素化についても検討を行いたい。	学校法人森ノ宮医療学園業務分掌規程

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
円滑な組織運営を実施している。しかし、将来学園の規模がさらに拡大したときには組織改編を行う必要があると考える。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	学校運営の状況および関係法令に基づき必要な人材を配置する。また、学内外での研修により育成を行う。	関係法令の遵守による教職員数の確保、配置を基礎として、学校運営の状況を加味し、人員確保、配置を行っている。 人材の育成、研修についてはOJTを基本とし、東洋療法学校協会および柔道整復学校協会の教員研修会や私学経営研究会等の外部セミナーへの参加により行っている。		
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	あらかじめ明文化された人事考課制度により、客観的かつ公平的な人事考課を実施する。	人事考課規程を定めている。		学校法人森ノ宮医療学園人事考課規程
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	あらかじめ明文化された人事考課制度により、昇進・昇格についても客観的かつ公平的に実施する。	人事考課規程を定めている。		学校法人森ノ宮医療学園人事考課規程
2-7-12 賃金制度は整備されているか	あらかじめ明文化された賃金制度により、客観的かつ公平に賃金を支払う。	森ノ宮医療学園専門学校賃金規程を定めている。		森ノ宮医療学園専門学校賃金規程
2-7-13 採用制度は整備されているか	あらかじめ定められた採用基準に基づき、中長期的視野から人事採用を行う。	採用にあたっては本校 Web ページ等により学外に広く募集を行い、数度の面接などにより判断を行っている。	教職員の採用制度についての直接的な規程が存在しない。	

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	学園全体の教職員の増減については法人本部において把握する。	採用、人事に関しては全ての情報を法人本部の担当部署に集約し、管理している。また、教職員の増減等については毎年の事業報告書において広く公表している。		平成 23 年度事業報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事および賃金に関する規程は学校法人森ノ宮医療学園人事考課規程、森ノ宮医療学園専門学校賃金規程などを定め、整備している。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	学校法人森ノ宮医療学園寄附行為に基づき、理事会を中心とした意思決定システムを構築する。	理事会、評議員会、職員会議、学科会議などを定期的に行っている。		理事会議事録 評議員会議事録 職員会議議事録 学科会議議事録
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	学校法人森ノ宮医療学園寄附行為に基づき、理事会、評議員会等を開催する。	理事会および評議員会については寄附行為により制度化されている。	校内の意思決定システムである、職員会議、学科会議等については規程による制度化は達成されていない。	学校法人森ノ宮医療学園寄附行為
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か	学校法人森ノ宮医療学園組織規程、業務分掌規程および稟議規程等に基づき、業務・案件について速やかなる決裁を行う。	学校法人森ノ宮医療学園組織規程により意思決定の階層・権限を明確にしている。意志決定について、起案は事業計画に基づいて各担当者（管理職員のみでなく）が行い課長、次長、部長、校長と決裁している。学校法人森ノ宮医療学園業務委任規程を定め、業務の効率化、スピード化にも留意している。		学校法人森ノ宮医療学園組織規程 学校法人森ノ宮医療学園業務分掌規程 学校法人森ノ宮医療学園稟議規程 学校法人森ノ宮医療学園業務委任規程

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
起案は事業計画に基づいて各担当者が行い、課長、次長、部長、校長と順次決裁することにより意思決定を図っている。また、学校法人森ノ宮医療学園業務委任規程により、迅速な意思決定も可能となっている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	グループウェア等の情報システムを導入し、業務の迅速化、効率化を図る。	グループウェアである HotBiz を導入し、本校のみならず森ノ宮医療大学の教職員との情報の共有、業務効率化を達成している。特に情報の周知については多大な効果を上げていると言える。	さらなるスピードアップを図るため、電子決裁システム等の導入、活用も検討する。また導入から数年が経過したグループウェアの刷新についても課題の一つといえる。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報システムについては職員すべてが専用のパソコンを持ち、学園内 LAN を構築し、情報の共有や効率化を図っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

基準 3 教育活動（鍼灸学科）

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>全体目標と各学科の目標を定め教育活動を行っている。</p> <p>本校は「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に関する法律施行令」および「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則」（以下「認定規則」とする）に基づき教育活動を行っている。</p> <p>カリキュラムについては、認定規則で規定されている教育内容以上の単位数を取得させると共に本校独自の認定規則外単位を設け、常に業界をリードする教育レベルを確保するよう運営している。</p> <p>教育活動状況については、カリキュラムに基づき、シラバスを作成することで学生の到達目標の明示化や単位認定の明確化などを図り、成績評価の客観性の確保等、常に到達レベルを見直し、位置づけを明確にしている。</p> <p>授業評価については、各学年次の科目終了前に実施している学生による授業アンケートを中心に各教員にフィードバックし、教育内容の向上を図っている。</p> <p>はり師・きゅう師資格取得を大きな目標として教育を行い、国家試験合格率は常に 90%以上を誇り、成果をあげている。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	森 優也
--------	------------------	-------	------

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	業界のニーズは、幅広く、かつ即戦力となる人材にあるため、基本的な知識・技能を中心に充実させるよう努力し、就職先からも一定の評価を受けるよう努める。	各療法の疾患に対する適・不適はもちろんのこと鑑別、実技能力を確保する授業構成をしている。高レベルの応用力については授業時間外の実技ゼミ等によっても身に付けることができる。また、業界団体代表者等と連携し、教育内容についても常に最新の業界のニーズに答えられるよう、できる限り見直しを行っている。	現状の業界のニーズは、鍼灸整骨院等での即戦力であり、教育内容と乖離する部分が課題と考えている	職員会議議事録

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界のニーズは非常に幅広く、求められる人材も多種多様である。また、卒後は、直ちに患者の治療に当たることができるよう、基本的な知識・技能の修得に力を入れている。加えて、可能な限り応用力をも養うべく、毎日授業時間外に実技ゼミ等を開催している。	現状、業界のニーズの大半は、鍼灸整骨院等での業務に従事する人材を求められており、専ら鍼灸治療のみを行う業務ではないため、就業現場においては当校の教育内容と乖離する部分がみられる。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	森 優也
--------	------------------	-------	------

3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を達成する知識、技術、人間性等は、業界が求めるレベルに適合しているか、また、レベルに到達することが可能な修業年限となっているか	業界団体代表者等と連携を図ることにより業界のニーズレベルを把握し、近づけるよう努める。到達レベルについては、シラバス等で明記する。 修業年限については認定規則で定められている。	業界団体代表者等と定期的に協議を行い、業界が求めるレベルの把握に努め、教育内容の見直しを行っている。学生に求める到達レベルについてはシラバス等で事前に公表している。	更なるレベルアップのために教育期間・授業時間数の増加等が考えられるが、現実的ではない。限られた時間の中でいかに効率的にすべての学生に高いレベルの教授を行えるかが課題である。	平成 24 年度シラバス 職員会議議事録

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界の求めるレベルについては常に把握するよう努めてはいるが、3 年という教育期間の中で就業に必要な知識、技術のすべてを教授することは困難と考えているので、重要な分野を明確にしたうえで、各科目のシラバスにおいて、学習目標（一般目標・行動目標）を掲げ、授業内容について、到達目標、知識、技能の標準、評価の基準を明示し、学生に公表している。	鍼灸治療は、画一的な治療法を実践するものではなく、さまざまな治療法や患者ごとの疾患に応じての施術が存在するのが現状である。したがって患者や業界のニーズそのものが多岐にわたり、結果的に学生の学習動機や目標も幅広くなっている状況にある。その中で、到達目標を一点に絞り込むのではなく、さまざまな治療法を紹介することが肝要である。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	森 優也
--------	------------------	-------	------

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	基本的なカリキュラムは認定規則に基づき編成しているが、加えて実技実践力や応用力の部分でさらなる吟味を行う。	鍼灸の東洋医学では、経絡、中医学など考え方が画一的でなく、一通り教授するようにしている。また、人間性や応用力を養うため、認定規則外単位を設けている。	教科間で意思の疎通が十分とは言えない現状と認識している。各教科に対して、担当に一任していたが、教科間の意志の疎通を図り、体系的に編成を行う。	あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師に係る学校養成施設認定規則 平成 24 年度シラバス
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	積極的に業界や他施設の教員との意見交換を行い、教育内容に反映していく。	東洋療法学校協会の教員研修会や教育部会、教科担当者間での意見交換などを行っている。また、年 4 回程度開催の職員会議において兼任教員から鍼灸師としての立場から意見を頂戴している。	さらに東洋療法学校協会加盟校や大学との意見交換を行い、さらなるカリキュラムの錬成に努めていきたい。	東洋療法学校協会教員研修会 東洋療法学校協会教育部会 職員会議議事録
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	学科長を中心に作成したカリキュラム案を、学科全教員で協議する。	教員間でのカリキュラム作成に関する知識の共有を行っている。将来は全ての教員が同一レベルの知識を得るようにしたい。	今後は、教員全員に周知徹底し、明確な体制を維持したい。	森ノ宮医療学園専門学校学則 平成 24 年度シラバス
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	認定規則で定められたカリキュラムは堅持しつつ、業界の意見もできる限り取り入れていく。	鍼灸治療や広く医療に係る状況等の変化と新たな知見により、変化した部分や不都合が生じた場合、臨機応変な学則改訂を関係所轄庁と相談の上行い、カリキュラムを定期的に見直している。	さらに、状況を判断し、見直しの必要な部分を検討できるような体制の維持に努める。	森ノ宮医療学園専門学校学則 平成 24 年度シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育内容の多くは、「認定規則」により規定される部分が多く、体系的に編成するには教育期間も鑑みると十分とは言えない。その中でも可能な限り体系的に編成するよう努力をし、より効率的なカリキュラムの構築を目指し、定期的カリキュラムを見直す作業を行っている。</p>	<p>前述のように、教育内容は認定規則に規定された内容以上になっている。</p>

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	森 優也
--------	------------------	-------	------

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	適正な位置付けを目標としている。	3年間という限られた期間の中で、より効率的なカリキュラムとなるべく科目の配置、内容は常に見直しを行っている。鍼灸学科ではシラバスを作成しており、シラバスの概観により、科目の位置付けを俯瞰的に確認している。	今後はさらなるシラバスの内容の吟味と実施内容が必要。	平成24年度シラバス
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	シラバスには到達目標、成績評価基準を明記している。	鍼灸学科では毎年度シラバスを作成している。	今後はシラバスの内容の吟味と実施内容が必要と認識し改善の方向で進めている。	平成24年度シラバス
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	全科目、全授業についてシラバスを作成する。	講義・実技・演習関係について、シラバスに則り授業が執り行われている。	全科目でシラバスを作成しているが、授業ごとのシラバス作成までは徹底できていない。コマシラバスの作成も検討していきたい。	平成24年度シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
シラバスは授業の重要な柱と考え、鍼灸学科においては科目ごとのシラバスの作成を行っている。今後、内容等について積極的な取り組みを行ってきたい。	

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	森 優也
--------	------------	-------	------

3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-14-10 キャリア教育が行われているか	本校においては教育課程全体が職業教育となっており、その中において、教員が正しくキャリア教育を理解し実現することを目標とする。	国家試験合格を目標とするのではなく、合格後を見据えた教育を行っており、出来る限り現役の鍼灸師と接する機会を設けている。	国家試験不合格の学生に対する指導が重要と考える。	
3-14-11 キャリア教育の実効性は検証されているか	国家試験合格率が一つの指標であるが、卒業後の進路についても把握していく。	在校生、卒業生ともに希望者への就職指導、就職支援は行っている。	卒業生の進路については把握しきれていない。今後、定期的な調査を行うことも検討したい。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は鍼灸師養成校であることから、課程そのものが職業教育と言え、一定の成果が見受けられるが、一方で卒業生がすべて業界で就職しているかどうかの確認が出来ておらず、キャリア教育については十分ではないとの認識がある。さらに卒業生の進路についてもフォローしていく必要がある。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	森 優也
--------	------------------	-------	------

3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-15-12 学生による授業評価を実施しているか	各学年次の科目終了ごとに5件法と自由記述による授業評価アンケートを実施する。	各学年次の科目終了前の授業時間中に授業評価アンケートを行っており、回収率は90%以上ある。	現在、学生による授業評価アンケートの結果を受け、教員に対してのフィードバックをいかにするかを検討中である。	平成24年度授業アンケート
3-15-13 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	アンケート結果について、各担当者にフィードバックするとともに学科においても授業改善の検討材料とする。	各担当教員には、学生からの授業評価の集計一覧を手渡し、参考にしてもらっているが、学科としての評価は行っていない。 一部の教員は積極的に現状を把握し、学生からの評価を活用している。	学科としての評価基準やフィードバックの仕方については、今後検討が必要。	平成24年度授業アンケート

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>授業改善や教職員の資質の向上を図るため、授業評価の実施・評価体制は重要と考えている。</p> <p>評価体制としては、学生による授業評価アンケートのみではなく、今後は教職員間での公開授業などを通して、それぞれの専門性の相互理解や有効的な授業評価を行っていく予定である。</p>	

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	森 優也
--------	------------	-------	------

3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-14 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	教授資格等、各要件を満たしている教員を採用し、教育力充実を目指し、育成していく。	幅広く多様な人材を採用するために、教員の公募を行い、応募者の履歴書等の確認、面接、実技試験を実施して、採用決定している。採用後は、新人教員研修等や学内外においてFDを実践している。	自校卒業生の採用が多くなってしまっているため、広く公募することとした。自校卒業生であれば、自校教育期間中に教員適性や人間性、学力についてほぼ把握できていたが、他校卒業生の場合、新たな基準作りが必要と考えている。	教員資格保有の証票類等 新人研修スケジュール表
3-16-15 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	実際の臨床現場で活躍している教員を採用し、業界レベルに対応する。	臨床に携わっている教員の採用および臨床の継続を推奨している。	教育力と臨床力とは必ずしも一致する訳ではなく、教員の人材確保には苦慮している。	
3-16-16 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	教員の専門性の把握を行い、適切な教科を担当させる。	教員採用時の面接等で専門性は把握している。	教員間での評価は専門性からも難しい。教員に対する評価委員会等の設置が必要。	
3-16-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	専門性について深め、個人研究および関連学会等の参加について、学校として奨励する。	各教員に対し、個人学術費を設けている。研究計画の内容により個人学術費の中から、支給している。	学校内での専門性を高める研修は難しく、積極的に外部施設や大学医学部・歯学部との連携が必要となる。	平成 24 年度個人学術計画書 平成 23 年度個人学術報告書

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-18 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	基礎的な教授力については極めて重要であり、適宜把握したうえで、不断のインストラクションスキル向上を目指す。	授業評価アンケートにより各教員の教授力を把握しているが、組織として評価委員会等は設置していない。	教員に対する評価委員会等の設置が必要と思われる。	平成24年度授業評価アンケート
3-16-19 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	学内外の研修へ参加しやすい体制を整え、教授力向上を促す。	初任時は、担当科目について模擬授業等を行わせ、問題点を指摘し育成を行っている。東洋療法学校協会主催の教員研修会への参加により教授力の向上を図っている。	初任時のみ行っている模擬授業等について、教授科目が2年目、3年目となっても実施する必要がある。	東洋療法学校協会教員研修会抄録
3-16-20 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	定期的に会議等により意見交換を行い、授業内容の改善や教授力の向上を図る。	学期ごとに職員会議や実技担当者会議を開催し、現状認識、意見交換、改善策等を話し合い実行している。	その他の教科についても、会議等の開催が必要と思われる。	職員会議議事録 実技担当者会議議事録
3-16-21 非常勤講師間で適切に協業しているか	密接なコミュニケーションにより、一層の教育効果を得る。	兼任教員間での普段のコミュニケーションは行えている。職員会議や実技担当者会議も兼任教員間の協業のための重要な場となっている。授業報告書等の提出までは求めている。	将来においては授業報告書の作成を義務づけ、それを元に会議等の開催が必要と思われる。	職員会議議事録 実技担当者会議議事録

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-22 非常勤講師の採用基準は明確か	教員資格、適性等を勘案し採用する。	採用時に履歴書の他、面接等を実施して判断している。	結果として自校卒業生の採用が多く、人間性や学力についてほぼ把握できていたが、他校卒業生の採用を拡大するには、現在の採用基準の検討が必要。	教員資格保有の証票類等

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は、臨床の第一線にいた鍼灸師により創設された経緯がある。本校の精神的支柱となってきた建学の精神「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人を育成する」に基づき、教育に携わる教員については、臨床経験豊富な人材をそろえ、また育成を図っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	森 優也
--------	------------------	-------	------

3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-17-23 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	成績評価・単位認定の基準について明確にし、事前に学生に提示する。	筆記試験・実技試験により成績評価を行っている。一定の評価以上を獲得し、規定の出席数を満たしている者が単位を認定される。	一部の科目によっては、コースごとの担当教員の違いにより試験難易度にばらつきが見られるため、試験選考委員会を立ち上げるなど成績評価基準や単位認定要件の吟味が必要と思われる。	
3-17-24 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	単位互換については、認定規則に則り行う。	認定規則および本校学則に則り単位互換を実施している。	本校学則により、必要であれば、試験等により評価した上で単位互換を実施しているが、今後試験を課すか検討が必要と思われる。	森ノ宮医療学園専門学校学則

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・単位認定については、本校で規定した内容で行っている。単位互換については、認定規則に則り行っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	森 優也
--------	------------------	-------	------

3-18 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-18-25 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	認定規則により、カリキュラムの内容が規定されている。本校においてはカリキュラムそのものが資格取得のためのものとなっている。	本校カリキュラムは、認定規則に規定された内容以上の単位数となっており、加えて、実技・実習をより多く取り入れている。	認定規則に規定される部分が多く、それ以上の特色を出すことが困難であるが、今後も検討が必要と思われる。	森ノ宮医療学園専門学校学則
3-18-26 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	認定規則に則り、国家資格取得のための授業内容とする。	3年次の9月以降については、国試対策ばかりでなく、応用力を高めるため、国家試験科目の教科を配置している。	より効率的な科目配置について検討が必要と思われる。	平成24年度シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
最終目標は、国家試験合格であり、それに対する授業も行いつつ、学力不足の学生に対しては、課題提出や補講と言ったかたちでサポートをしている。卒業後も国家試験不合格者に対しては聴講制度による指導を行っている。	

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	森 優也
--------	------------	-------	------

基準 3 教育活動（柔道整復学科）

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は「柔道整復師法施行令」および「柔道整復師学校養成施設指定規則」（以下「指定規則」）に基づき教育活動を行っている。</p> <p>カリキュラムについては、指定規則で規定されている教育内容の単位数以上の単位を取得させるとともに、本校独自の指定規則外単位を設け、業界をリードする教育レベルを確保するよう運営している。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 徹
--------	------------------	-------	------

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	業界のニーズは幅広いが、外傷に対して適切な対応ができるよう、基本的な知識・技術を習得させるよう努め、就職先からも一定の評価を受けるよう努める。	各外傷・疾患に対する初期対応や鑑別はもちろんのこと、その後の処置が行える実技能力を確保する授業構成をしている。また、業界団体代表者等と連携し、教育内容についても常に最新の業界のニーズに答えられるよう、できる限り見直しを行っている。	現状の業界のニーズは、鍼灸整骨院等での即戦力であり、教育内容と乖離する部分が課題と考えている。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界のニーズは幅広く、しかも即戦力として求められることが多い。そのため様々な要望に出来るだけ早く応えられるように、普遍的、基本的な知識・技能の修得に力を入れ、可能な限り応用力を養わせるよう、授業・実技・実習を工夫している。	現状、業界のニーズの大半は、外傷の治療、後療ではなくマッサージなどの手技が中心になっているが、本校では柔道整復師の本分である外傷の施術に加え、運動器疾患の鑑別についての教育に力を入れている。これらの「臨床現場での基礎力」を身につけさせていることで、業界からは一定の評価を受けている。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 徹
--------	------------------	-------	------

3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を達成する知識、技術、人間性等は、業界が求めるレベルに適合しているか、また、レベルに到達することが可能な修業年限となっているか	業界団体代表者等と連携を図ることにより業界のニーズレベルを把握し、近づけるよう努める。到達レベルについては、シラバス等で明記する。 修業年限については指定規則で定められている。	学生に求める到達レベルについてはシラバス等で事前に公表している。	業界の変化を見据えると、業界のニーズに応えることはもちろん、業界をリードする人材を輩出できるような教育をさらに進めたい。	平成 24 年度シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界の求めるレベルについては常に把握するよう努めてはいるが、3 年という教育期間の中で就業に必要な知識、技術のすべてを教授することは困難であるので、重要な分野とそうでない分野を明確にし、授業内容について到達すべき目標、知識、技能を明らかにしている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 徹
--------	------------------	-------	------

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	基本的なカリキュラムは指定規則に基づき編成しているが、加えて、学生の質の変化に対応するためにカリキュラムを通じての動機づけを目指す。	指定規則で定められたカリキュラムを基に、特に実技、実習の時間を多く設け、卒業後の活躍を見据えたカリキュラムとしている。		柔道整復師学校養成施設指定規則
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	積極的に業界や他施設の教員との意見交換を行い、教育内容に反映していく。	柔道整復学校協会の教員研修会や教育部会、教科担当者間での意見交換などを行っている。また、年3回程度開催の職員会議において兼任教員から柔道整復師としての立場から意見を頂戴している。	さらに柔道整復学校協会加盟校や大学との意見交換を行い、さらなるカリキュラムの錬成に努めていきたい。	柔道整復学校協会教員研修会 柔道整復学校協会教育部会 職員会議議事録
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	学科長を中心に全教員の協議によりカリキュラムを編成する。	全教員参加の学科会議により、カリキュラム決定を行っている。		森ノ宮医療学園専門学校学則
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	業界の意見を取り入れながら、科目の重要性を勘案し、科目の単位時間、内容等を見直す。	施術治療や広く医療にかかる状況等の変化と新たな知見により、変化した部分や不都合が生じた場合、臨機応変な学則改訂を関係所轄庁と相談の上行い、カリキュラムを定期的に見直している。	さらに、状況を判断し、見直しの必要な部分を検討できるような体制の維持に努める。	森ノ宮医療学園専門学校学則

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育内容の多くは、指定規則により規定される部分が多く、体系的に編成するには教育期間を考慮すると十分とは言えない。その中でも可能な限り体系的に編成するよう努力をし、より効率的なカリキュラムの構築を目指し、定期的カリキュラムを見直す作業を行っている。</p>	<p>前述のように、教育内容は指定規則に規定された内容以上になっている。</p>

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 徹
--------	------------------	-------	------

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	適正な位置付けを目標としている。	概ね適正に位置付けされている。		
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	各科目の指導内容、方法等を示したシラバスを作成する。	現在シラバス作成に向けての体制の構築を検討している。	現在のところ柔道整復学科ではシラバス作成の体制は充分とは言えない。	
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	全科目、全授業についてシラバスを作成する。	現在シラバス作成に向けての体制の構築を検討している。	現在のところ柔道整復学科ではシラバス作成の体制は充分とは言えない。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
シラバスは授業の重要な部分を占める。積極的な取り組みを行っていききたい。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 徹
--------	------------------	-------	------

3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-14-10 キャリア教育が行われているか	本校においては教育課程全体が職業教育となっており、その中において、教員が正しくキャリア教育を理解し実現することを目標とする。	国家試験合格を目標とするのではなく、合格後を見据えた教育を行っており、出来る限り現役の柔道整復師と接する機会を設けている。	国家試験不合格の学生に対する指導が重要と考える。	
3-14-11 キャリア教育の実効性は検証されているか	国家試験合格率が一つの指標であるが、卒業後の進路についても把握していく。	在校生、卒業生ともに希望者への就職指導、就職支援は行えている。	卒業生の進路については把握しきれていない。今後、定期的な調査を行うことも検討したい。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は柔道整復師養成校であることから、課程自体がキャリア教育そのものであると言える。卒業後の進路についてもフォローしていく必要はある。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 徹
--------	------------------	-------	------

3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-15-12 学生による授業評価を実施しているか	各学年次の科目終了ごとに5件法と自由記述による授業評価アンケートを実施する。	各学年次の科目終了前の授業時間中に授業評価アンケートを行っており、回収率は90%以上ある。	現在、学生による授業評価アンケートの結果を受け、教員に対してのフィードバックをいかにするかを検討中である。	平成24年度授業アンケート
3-15-13 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	アンケート結果について、各担当者にフィードバックするとともに学科においても授業改善の検討材料とする。	各担当教員には、学生からの授業評価の集計一覧を手渡し、参考にしてもらっているが、学科としての評価は行っていない。 一部の教員は積極的に現状を把握し、学生からの評価を活用している。	学科としての評価基準やフィードバックの仕方については、今後検討が必要。	平成24年度授業アンケート

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>授業改善や講師・教職員の資質の向上を図るために、授業評価の実施・評価体制は重要と考えている。</p> <p>評価体制としては、学生による授業評価アンケートのみではなく、今後は講師間での公開授業などを通して、それぞれの講師の専門性の相互理解や評価を行っていく予定である。</p>	

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	吉川 徹
--------	------------	-------	------

3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-14 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	教授資格等、各要件を満たしている教員を採用し、教育力充実を目指し、育成していく。	採用時に履歴書の確認の他、面接面談等を実施して採用決定し、採用後は学内外においてFDを実践している。	結果的に自校卒業生の採用が多くなってしまっている。その場合は教育期間中に教員適性や人間性、学力についてほぼ把握できていたが、今後より幅広く多様な人材を採用するには、現在の採用基準に加え、新たな基準作りが必要と考えている。	教員資格保有の証票類等
3-16-15 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	実際の臨床現場で活躍している教員を採用し、業界レベルに対応するが、専門性に特化しすぎないように留意もする。	臨床に携わっている教員の採用および臨床の継続を推奨している。	教育力と臨床力とは必ずしも一致する訳ではなく、教員の人材確保には苦慮している。	
3-16-16 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	教員の専門性の把握を行い、適切な教科を担当させる。	教員採用時の面接等で専門性は把握している。	教員間での評価は専門性からも難しい。教員に対する評価委員会等の設置が必要。	
3-16-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	専門性について深め、個人研究および関連学会等の参加について、学校として奨励する。	各教員に対し、個人学術費を予算化している。研究計画の内容により個人学術費の中から、研究支援を行っている。	学校内での専門性を高める研修は難しく、積極的に外部施設や大学医学部・歯学部との連携が必要となる。	平成24年度個人学術計画書 平成23年度個人学術報告書

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-18 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	基礎的な教授力については極めて重要であり、不断のインストラクションスキル向上を目指す。	授業評価アンケートにより各教員の教授力を把握しているが、組織として評価委員会等は設置していない。	教員に対する評価委員会等の設置が必要と思われる。	平成24年度学生アンケート
3-16-19 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	学内外の研修へ参加しやすい体制を整え、教授力向上を促す。	柔道整復学校協会主催の教員研修会に参加により教授力の向上を図っている。	特に学内での個人に対する研修は十分とは言えない。	柔道整復学校協会教員研修会抄録
3-16-20 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	必要に応じ連携、協議する。	専任教員間においては普段から活発な意見交換を行っている。		
3-16-21 非常勤講師間で適切に協業しているか	密接なコミュニケーションにより、一層の教育効果を得る。	授業報告書等の提出までは求めている。	各教科の授業報告書はなく、申し送り等の情報がある程度で、十分ではない。将来においては授業報告書の作成を義務づけ、それを元に会議等の開催が必要と思われる。	

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-22 非常勤講師の採用基準は明確か	教員資格、適性等を勘案し採用する。	採用時に履歴書の他、面接等を実施して判断している。		教員資格保有の証票類等

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は、臨床の第一線にいた鍼灸師により創設された経緯がある。本校の精神的支柱となってきた建学の精神「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人を育成する」に基づき、教育に携わる教員については、臨床経験豊富な教員をそろえ、また育成を図っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 徹
--------	------------------	-------	------

3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-17-23 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	成績評価・単位認定の基準について明確にし、事前に学生に提示する。	筆記試験・実技試験により成績評価を行っている。試験において一定の評価以上を獲得し、規定の出席数を満たしている者が単位を認定される。	一部の科目によっては、コースごとの担当教員の違いにより試験難易度にばらつきが見られるため、試験選考委員会を立ち上げるなど成績評価基準や単位認定要件の吟味が必要と思われる。	
3-17-24 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	単位互換については、指定規則に則り行う。	指定規則および本校学則に則り単位互換を実施している。	本校学則により、必要であれば、試験等により評価した上で単位互換を実施しているが、今後試験を課すか検討が必要と思われる。	森ノ宮医療学園専門学校学則

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・単位認定については、本校で規定した内容で運営している。単位互換については、認定規則に則り行っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 徹
--------	------------------	-------	------

3-18 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-18-25 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	指定規則により、カリキュラムの内容が規定されている。本校においてはカリキュラムそのものが資格取得のためのものとなっている。	本校カリキュラムは指定規則に規定された内容以上の単位数となっており、加えて、実技・実習をより多く取り入れている。	指定規則に規定される部分が多く、それ以上の特色を出すことが困難であるが、今後も検討が必要と思われる。	森ノ宮医療学園専門学校学則
3-18-26 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	指定規則に則り、国家資格取得のための授業内容とする。	3年次の9月以降については、国試対策に重点を置いている。	より効率的な科目配置について検討が必要と思われる。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
最終目標は、国家試験合格であり、それに対する授業も行いつつ、学力不足の学生に対しては、個別指導や補講といったかたちでサポートをしている。卒業後も国家試験不合格者に対しては聴講制度による指導を行っている。	

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	吉川 徹
--------	------------	-------	------

基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の明示的な教育成果は国家試験合格であるが、もともと臨床に強い医療人の育成を掲げていることから、卒業後の進路についても手厚い指導が必要であろう。学内においては、その一環として希望者に対しては授業時間以外に、ゼミ形式での座学のみならず、実技指導の場を提供したり、外部組織による勉強会等も日頃から幅広く校内で実施したりしている。</p> <p>近年、業界の様相が変化していることから、将来に希望が持てないという学生も増えてきている。ただ、いかなる状況になろうとも、鍼灸師あるいは柔道整復師の需要が全くなくなるわけではないので、資格取得と併せて、職業としての魅力を伝えていけるよう、学生に対する指導も粘り強く行っていきたい。</p>	

最終更新日付 平成 25 年 3 月 31 日 記載責任者 尾崎 朋文・川鍋 史一

4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-19-1 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	就職率 100%を目標とする。	学生支援課に相談に来る学生に対しては、就職完了まで支援を行っている。「就職相談会」の実施。	就職先保有件数が増加する分、就職先情報の取得が困難になり、マッチングが難しくなっている。	
4-19-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	就職成果とその推移に関する情報を公表する。	年度報告資料を作成することにより、具体的な件数は把握できている。	就職後の早期離職者の把握は困難を極めている。	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
元々、就職という概念がない業界にあって、他校に先駆けて求人先の確保に務めてきた。その取り組みの一つとして、業界初の「合同就職相談会」も行い、以来毎年行っている。加えて、全求人先が一切の営業活動なしに、口コミのみで集めたものであることも特筆できる。	技術力向上のために転職が当たり前の業界であるので、追跡調査は困難を極めている。また、ほとんどの求人先が個人商店であるので、求人先情報の把握は難しい。福利厚生が無い就職先が多いことが、魅力を無くしている要素の一つになっている。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文・川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------------

4-20 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-20-3 資格取得率の向上が図られているか	目標としては 100%とされている。	国家試験合格率は常に全国平均を上回り、90%前後を達成している。	国家試験合格率 100%を目指すためには、あと少し及ばない学生に対しての指導体制を考える必要がある。	国家試験学校別合格番号一覧表
4-20-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	資格は国家資格であり、合格者の実数が常に公表されるので把握できている。	国家試験への出願も学校を通して行うことから受験番号も全て把握できており、合格者についても明らかである。		国家試験学校別合格番号一覧表

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ある程度達成できていると考えるが、国家試験合格にあと一步足りないというような学生がいるのも事実である。今後はこのような学生に対してより一層の指導体制の整備が必要と考えられる。また、国試浪人者へのフォロー体制も強化していく必要がある。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文・川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------------

4-21 退学率の低減が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-21-5 退学率の低減が図られているか	進路の変更や経済的理由などやむを得ない退学は別として、当該本人と面談を重ね、適切な指導を行う。	担任を中心に教職員が該当学生と話し、さらに保護者等関係者との面談を行うなどコミュニケーションを取っている。	さらに該当学生とのコミュニケーションをはかれるよう教職員の対応を模索中である。	
4-21-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	入退学者数とその推移に関する情報について把握する。	入学者はもちろん、退学者の情報についても学内への周知を徹底している。学生数を含む学籍情報についての管理は出来ている。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率 0%（入学者全員の卒業）を目標として、教員と学生のコミュニケーションを取り、学生支援体制の整備、カウンセラーの活用、診療所（内科・鍼灸室）による健康管理を充実し、心身および経済的バックアップによる退学率低減を図っている。また退学者に関する情報も学内で共有できている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文・川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------------

4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-22-7 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	教育内容の改善という観点から、在校生はもとより卒業生の動向についても把握する。	在校生への求人状況から一部の卒業生の開業状況は把握できている。また、業界団体役員や学会での世話役等についても把握できている。	業界を離れていく卒業生の把握が困難を極めている。	
4-22-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	社会に活躍・貢献しうる人材の育成を目標としているが、特筆にあたらぬ卒業生も地道に地域の医療活動に貢献している。特筆すべき医療人だけが本校の目指す全てではない。	本校は社会に貢献できる医療人を育成している。卒業生の病院等での活躍や開業が外部からの評価であり、学術的発表も評価されているので、例を出すには事欠かない。	さらなる卒業生との連携と、業界や学会をリードする人材の育成を目指す。	
4-22-9 在學生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	外部においても評価されうる人材の育成を目標としている。	本校は社会に貢献できる医療人を育成している。卒業生の病院等での活躍や開業が外部からの評価であり、学術的発表も評価されている。		
4-22-10 在學生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	外部においても評価されうる人材の育成を目標としている。	在校生は学術大会等の場で発表。卒業生も、内外の学術大会での発表、投稿を多数しており、評価されている。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校卒業生は医療の現場で高い評価を得ている。卒業生・在校生のさらなる活躍が期待できる環境作りを行い、業界での成功者や指導者を輩出したい。	

基準 5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援のうちで重要と思われるもののひとつに就職支援活動があるが、本校卒業生の就職先は業種としては医療職を中心としているものの、そのほとんどが個人経営であることから膨大な数に及んでおり、その中から適性に合った就職支援を行うことを目標としている。ただ、在校生の年齢も他の専門学校と比較して高齢であり、自ら就職活動を行ったり、既に就業していたりしている者も多い。</p> <p>学生への就職指導というよりも、より良い情報の提供や、就職先との良好なコミュニケーションを継続するといった橋渡しの性格が強くなっている。加えて、これまでは進路先の獲得にのみ注力してきたが、進路先の数のみならず、その施術内容にまで拘った進路先の獲得が必要となるであろう。</p>	<p>現実的に、卒業生全員を就職させる。といった業種ではないので進路の確認に手間取る。また、卒業時点での進路先の特定ができたとしても、その後の転職先、開業したか否か、までを追跡するのも困難である。</p> <p>というのも、転職によってスキルアップをしていく業種でもあるので、数年での転職は珍しくない、というよりも当たり前になっているからである。</p>

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------

5-23 就職に関する体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-23-1 就職相談室の設置など就職支援に関する体制は整備されているか	本校への多数の求人票を基に、個別の就職支援を行い、卒業時、在校時を問わず、高い就職率を維持する。	アルバイトや就職についての相談担当窓口は学生支援課で行い、マンツーマンによる支援を行っている。また、年数回の就職支援セミナーを開催している。卒業生に対しても Web 上で閲覧出来るようにしている。	個室の確保が望まれる。	学校法人森ノ宮医療学園業務分掌規程
5-23-2 就職に関する説明会を実施しているか	本校では全ての学生が卒業時に一斉に就職するわけではないので、就職説明会よりも個別の対応が重要である。ただ、一方で近年の就職意識の希薄化への対応として、就職説明会の必要性も検討したい。	全体に対する就職説明会という形はとっておらず、学生支援課を中心とする個別の就職支援に重点を置いている。年に一度、3年生対象の就職相談会は行っている。	必要に応じた人員の増加と、窓口の専門特化。	
5-23-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	本校学生は年齢も職業も多種多様であることから、就職に関する支援は学生ごとの個別相談を中心とする。	学生支援課による個別相談を随時行っている。就職が決まるまでサポートを行っている。		
5-23-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	就職先と学生との橋渡しに終わらない就職支援として、就職活動に関する支援を行う。	学生支援課による年数回の就職支援セミナーにより、職業意識、履歴書の書き方、面接のマナーなどを指導している。	現在は希望者に対する支援に止まっており、今後は支援学生の拡大を図りたい。	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校の現状に鑑み、就職支援は個別対応が中心となっている。学生支援の中でも就職支援に関しては比較的手厚く、丁寧な対応が出来ている。	

最終更新日付

平成 25 年 3 月 31 日

記載責任者

川鍋 史一

5-24 学生相談に関する体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-24-5 学生相談室の設置など学生相談に関する体制は整備されているか	専任カウンセラーを中心として教職員の密接な連携により対応する。	在校生・卒業生からの相談は、現状、個々の教職員で対応している。		
5-24-6 学生からの相談に応じる専任カウンセラーがいるか	学生からの相談に応じる専任カウンセラーを常置する。	現在、週1回のペースでカウンセラーによる相談を行っている。	学生のさらなる活用促進とカウンセラーの常駐化が求められる。	
5-24-7 留学生に対する学生相談体制は整備されているか	留学生に対する学生相談体制を整備、拡充する。	留学生に特化した相談体制とはなっていない。本年度留学生は1名。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現在教職員を中心に学生相談への対応を行っているが、学生相談については多岐にわたっているため、担当制では限界があると考え。専任カウンセラーの常駐が求められている。	学生時代に相談相手になることで、卒業後の帰属意識も高まっているように感じている。心理衛生面のように専門家に委ねるところは委ねるが、その他の相談については、これまで通りの対応が良いと考える。

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	川鍋 史一
--------	------------	-------	-------

5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-25-8 奨学金制度は整備されているか	複数の奨学金制度を持つべく検討する。特に本学独自の奨学金制度の充実を目指す。	国の奨学金制度と民間の教育ローン制度がある。学生の状況に応じ適宜紹介している。	充分とは言い難い。今後、数多くの奨学金制度を導入し、学生からの幅広いニーズに応えられることが重要と認識しているが、昨今の社会情勢から財源を求めるのは厳しい現実がある。	
5-25-9 学費の分納制度はあるか	分納、延納を認め、その上で、学生にとってより良い方法を模索していく。	学生ごとに経済状況に応じた学費の納付方法についての相談を受け付けている。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学費の滞納については、本校に限らず現在の経済状況から増加の傾向にあると思われる。そのような中で具体的にどのような支援ができるか、奨学制度を拡充させることができるかが課題と考える。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------

5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-26-10 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	一年に一度全学生対象に健康診断を実施する。	附属診療所において、全学生に対して健康診断を実施している。		健康調査票
5-26-11 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等を常駐する。	本校の場合、教員が医療資格者であることから、普段から学生からの健康に関する相談は活発に行われている。また、附属診療所の活用も行っている。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
そもそも教員が医療資格者であり、また、附属診療所を擁することもあり、学生の健康管理体制は一般的な学校と比べて整っていると考える。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------

5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-27-12 スポーツ等のクラブ活動、その他、課外活動に対する支援体制は整備されているか	スポーツ等のクラブ活動、その他、課外活動に対する支援体制を充実する。	課外活動の運営は、学生会に全権を待たせて、学生同士の話し合いの中で決定している。土日祝日の校舎の空いている時を利用して、各種勉強会の場を内外に開放している	クラブによっては、部員数の減少から、存続の危機に立っているクラブもある。他の専門学校生からも参加希望があるので、学内での部員充足への広報も必要と考える。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
課外活動に費やす時間の確保が困難であるため、クラブ活動等は決して活発ではないが、そのような中でも活動している学生への支援は行っていきたい。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------

5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-28-13 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	要望があれば十分な支援を行う。	新卒での地方出身者が少なく、実績は多くない。希望者には、信頼のおける不動産業者を推薦している。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
もともと生活環境が確立した学生の入学比率が高いことから、具体的な支援実績は多くはないが、今後は高校新卒者の入学の増加が見込まれることから、支援についても拡充させていきたい。	地方での卒後研修のためのワンルームマンションについては、校友会協力の下、一部家賃負担している場合もある。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------

5-29 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-29-14 保護者と適切に連携しているか	未成年者の学生に対しては保護者と適切に連携することを目標とする。	未成年者の学生における学費未納入、不登校者については、保護者と連携の上、本校教職員が複数名で対応している。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
特に学費の滞納に対しては、保護者との連携が大切であると考えている。面談等により、お互いにとって有益な解決方法を模索している。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------

5-30 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-30-15 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	同窓会による定例会議、予算管理等を充実し、卒業生情報を管理する。	「森ノ宮医療学園校友会」組織を結成している。	専門学校と大学が一緒になっているが、将来的にはかなりのボリュームになることが予想されるので、分化も考える必要性がある。	森ノ宮医療学園校友会議事録 森ノ宮医療学園校友会会報
5-30-16 卒業生をフォローアップする体制が整備されているか	支援内容により、事務局あるいは同窓会にて支援を行う。	再就職支援、校友会による臨床用ベッド貸し等施術スペースの提供、地方への訪問活動などを実施している。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
開校から39年を迎え、多くの卒業生を輩出してきている。本校にとっては財産ともいえるこれら卒業生との連携が今後ますます重要になってくると考えられる。	

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	川鍋 史一
--------	------------	-------	-------

基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校舎の建て替え、アネックス校舎の新築など、開校以来、多くの予算を投入し、校舎新築や改修等を経て現在の施設、設備へと充実を見た。しかしこれで十分というわけではなく、入学定員の増加に伴う実習教室の利便性の悪さなどはできる限り速やかに解決していかなくてはならないと考えられる。また、耐震工事を始め、施設設備のメンテナンスや老朽化に対しても中長期計画に則り対応していきたい。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-31-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	法令に基づき、整備を行っており、教育上支障なきよう努める。	校舎施設については、2年に一度、小改装等を行い、環境を整えている。設備については、適切な管理により維持、補修、刷新を行っている。		
6-31-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備されているか	外部委託はもとより、担当職員による保守、点検を行い、施設・設備の維持管理に努める。	毎日、担当職員が目視で点検を行っているほか、定期的に専門業者によるメンテナンスを行っている。加えて、学生および清掃担当者からも意見を聴取し、不具合等があれば直ちに対応している。		
6-31-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	施設・設備の更新に関しては中長期計画に基づき遂行する。	カリキュラム変更等により、現状の施設・設備では、不十分な部分もあり、現在、更新計画を遂行中である。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備の点検、メンテナンスについては職員および専門業者により実施している。校舎施設では、実技室の整備が急務となっている。現在、「建物中長期保全計画」を立案中である。	

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------	-------	-------

6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-32-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備し、遂行する。	毎年、鍼灸学科では中国の天津、広州、煙台いずれかに海外研修旅行を企画している。また、フロリダ代替医療大学やPacific College of Oriental Medicine でのアメリカ研修も企画している。柔道整復学科においてはアメリカの南オレゴン大学等で短期滞在を行っている。	研修先も含め、互いに事務室等を置き、より詳細な連携を取る必要がある。	
6-32-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認する。	研修終了後、生活態度の改善や学業成績の向上などが見られる。学生の満足度も高い。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中国研修や南オレゴン大学での研修などでは、参加後の学生の表情が一変するほどの効果を上げている。今後も更なる充実を行っていききたい。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

6-33 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-33-6 防災に対する体制は整備されているか	理事長を頂点とした防災の体制を整え、災害発生時には速やかな対応を行う。	体制は整備されている。災害図上訓練、専門の講師による防災セミナー、地域防災訓練など、職員の防災意識向上のための訓練・セミナー等を実施している。	引き続き、シミュレーション・セミナー等随時実施していく。	
6-33-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	校内の設備・機器等の情報の共有を行い、災害時への対応を含め校内への周知を行う。	診療所のレントゲンなどに情報が周知されていない。	さらなる情報が十分伝えるよう検討する。	
6-33-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	実習時は常に教員の監視が行き届くようにし、事故防止に全力を尽くす。	教員の監視のないところでの実習・実技を禁じ、事故や怪我な無いよう努めている。万一の場合は担当教官から診療所医師への連絡を行う。		
6-33-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	保険に加入する。	損害保険に学生、教員が強制的に学校全体で入っている。		

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-33-10 防災訓練を実施しているか	さまざまな状況を想定した防災訓練を、年2回程度実施しなければならない。	年2回、学生も参加する防災訓練を実施している。また、防災担当者は年2回消防局が開催する講習会に参加している。	東日本大震災は決して他人事ではない。防災に完全などないとの意識をもって、さらに防災意識を高めていきたい。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
万一の災害に対して、防災意識を高め、防災訓練を通じて、防災の意義を高めていきたい。	

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. 学生募集</p> <p>入学試験の実施については、大阪府専修学校各種学校連合会の基準に基づいて実施している。</p> <p>学校パンフレットについては、卒業生や在校生のメッセージを多用し、本校の様子が実例をもとに、わかりやすく伝えることに努めている。</p> <p>オープンキャンパスを数多く実施し、本校の特徴をよく理解して入学してきてもらうことに力を入れている。また、オープンキャンパスに在校生も出席してもらい、個別相談等で直接、見学者に学校の様子について話してもらっている。</p> <p>社会人経験のある志願者、見学者が多いことから、保護者、保証人への説明という観点にかける部分があるため、今後は、保護者、保証人を対象とした説明会についても検討していく必要があると考えている。</p> <p>受験生の多くが、卒業生から本校の情報を聞いたことが志望動機となっていると話しており、これが本校の大きな特徴と考えているが、それらを客観的に分析する指標を持っていないことから、今後検討をしていく必要がある。</p> <p>2. 入学選考</p> <p>入学選考は、学則に基づき適正に実施している。選考は判定会議を実施し、公平に審査し、決定している。</p> <p>入学辞退者に対する対応は、連絡窓口を明確にし、規程に則り所定の手続きによって、授業料を返還し、適正に行っている。</p> <p>3. 学納金</p> <p>3年間に必要な学納金を提示し、かつ学年ごとに必要な費用についても詳細がわかるように情報提供している。</p>	<p>1. 学生募集</p> <p>今まで目標とする定員に未充足であったことはないが、学校数の増加により受験者数が増加する傾向にはない。したがって、より丁寧に本校の特徴をアピールしていくことが重要と考えている。</p> <p>資格の特性について理解してもらうために、学校パンフレットとは別に、職業紹介のリーフレット等も制作し、卒業後のイメージも描くことができることを重視している。</p> <p>本校では多くの卒業生が卒業後も学校を訪れてくれる校風があり、募集活動においても、卒業生の存在が大きく寄与していると考えているが、それらを客観的に分析してきたことはなく、今後検討していく必要があると感じている。</p> <p>2. 入学選考</p> <p>従来は社会人経験者の入学生が非常に多かったが、近年は高校新卒者の比率が増えてきており、個人情報の取扱に留意しつつ、高校との連携を深めていかなければならないと考えている。</p> <p>3. 学納金</p> <p>教育ローンや奨学金制度の説明については、さらにわかりやすい情報提供が必要と考えている。</p>

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	清水 尚道
--------	------------------	-------	-------

7-34 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-34-1 学生募集活動は、適正に行われているか	大阪府専修学校各種学校連合会の入試選抜基準に基づいて入試を実施している。	校内に組織横断的チームを編成し、教職員協同による募集活動を行っている。またオープンキャンパスを数多く開催し、本校の教育方針や教育スタイルについての理解を深めてもらう努力をしている。オープンキャンパスには在校生にも参加してもらい、個別相談において来場者に自由に学校の現状を話してもらう環境をつくっている。	高校への認知度を高めるための高校生対象セミナー、社会人の入学促進のために社会人対象セミナー等を実施してきているが高校や社会人セミナーの参加者から高評価をいただいているので、さらに充実を図っていきたい。	森ノ宮医療学園専門学校学生募集要項 森ノ宮医療学園専門学校学校案内
7-34-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	在校生や卒業生に協力してもらい、教育内容や学校生活、卒業後の進路が具体的にイメージしやすい内容を心がける。	学校案内等は、毎年リニューアルを行うとともに、3年ごとの完全刷新を行い、最新の状況を提示できるようにしている。また補助媒体の随時作成も行っている。	保護者からの感想を聞く機会は設けていないことから、学校説明会において保護者説明会の開催を次年度より実施していきたい。	森ノ宮医療学園専門学校学生募集要項 森ノ宮医療学園専門学校学校案内
7-34-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	入試、広報の担当者だけでなく、他の教職員も対応できるように準備する。	各学科の教員を含め、複数部署の人員から構成されるチームが組織され、相談内容に応じた対応を行っている。	志望者等の問い合わせ・相談に対応できる人員を多く配置しているが、より多くの教職員が対応できるように情報共有を行っていきたい。	学校法人森ノ宮医療学園組織図

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-34-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	目標とする入学定員充足のみならず、入学者選考ができる受験者数を確保することを目標としており、教員、広報担当者、入試担当者を中心とした組織横断的なチームを編成して取り組む。	平成25年度募集では、前年度より受験者数が減少した。入学者選抜を一定基準で行っていることから、募集予定定員より若干名少ない入学者となった。	従来からコースによって、募集力に差があったが、その傾向に変化がみられてきており、社会の情勢を分析し、分かり易い情報提供を心掛けることで、是正を図っていきたい。	平成24年度学校基本調査

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入試広報に関するチームを編成し、学園案内、志望者および保護者への対応、入学試験が一元管理されている。	学校見学者数の大きな変動はないが、受験者数は減少傾向にある。平成25年度募集では、目標とする入学定員充足に至らなかったが、本校の特徴をわかりやすく説明する努力を、より一層おこなっていく必要がある。

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	清水 尚道
--------	------------	-------	-------

7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-35-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	臨床に即した教育の実践が基本的な教育方針であり、資格取得はもちろんのこと卒業生の活躍こそが本校の存在意義だと考えている。	求人件数については実数を公開し、資格取得実績についても国家試験受験者数とともに合格率を公開している。	より、わかりやすい提示方法を検討するとともに、情報発信が不十分であることから、情報発信力を強化していきたい。	森ノ宮医療学園専門学校学校案内 森ノ宮医療学園専門学校 Web ページ (http://www.morinomiya.ac.jp)
7-35-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	本校への志望動機の中で、「卒業生から本校を推薦されたこと」が最も多い状態を目指す。また、卒業生が学校に訪れてくれる機会作りに努力する。	求人先が推薦者になっている受験者数が客観的な根拠と考えている。	客観的指標が不十分であったことから、平成 25 年度入学生に対して受験動向を調査し分析を行いたい。また、校友会（卒業生団体）との連携を進めていきたい。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入試事務室で学生募集活動についても管轄しており、その中に就職担当者も含まれている。したがって卒業生情報が募集活動の中に反映されやすい状況となっている。	卒業生の情報については、全卒業生の追跡調査までは実施できていない。ただ、卒業後にも来校する卒業生が多くいることから、ある程度の状況を把握できている。今後は、校友会との連携を深め追跡調査の実施を検討し、卒業生の動向を詳細に把握することで、客観的なデータによる分析を行ってきたい。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	清水 尚道
--------	------------------	-------	-------

7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-36-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	すべての入試において、複数の評価基準を設けるようにしている。加えて、学力的指標のみならず、意欲や目的意識も選考の重要な要素と考えていることから、すべての選考基準を数値化し、公平な判定ができる状況を作る。	任命された判定委員による判定会議によって選考されている。	受験者の年齢層が幅広いことから、受験者の意欲を評価できるように多様な入試を行っており、特に面接試験が重要と考えている。入試評価と入学後の成績との相関も面接が最も高いことから、今後も客観的に評価ができる面接官の育成を続けていきたい。	入試判定会議議事録
7-36-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	入学選考は教育のスタートとなるものであり、すべての教職員が高い意識を持って取り組むべき課題と考えていることから、常に最新の状況を把握できるようにする。	募集状況についての情報が、各部署に一斉伝達できるシステムをとっている。	コースごとの募集状況に近年、変化がみられてきている。その理由を分析し、より適切な入学選考を実施していきたい。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各部門の責任者と学科教務担当者複数が入試判定委員となっており、それらの判定委員から構成される判定会議を実施することで、適正かつ公平な選考を行うことができる体制をとっている。	近年、高校生の入学者数が増加してきている。今後は高校にも受験状況についての情報が提供できるよう、個人情報取扱に留意して、高校との連携を深めていきたい。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	清水 尚道
--------	------------------	-------	-------

7-37 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-37-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	学習しやすい環境、また快適に学生生活を送ることができる環境を提供することを重視しており、教育内容の充実はもとより施設設備面の充実を図る。	学納金の構成が分かりやすいように授業料と実験実習費、年間諸経費を分けて提示している。	より充実した授業内容の提供と、学園環境の整備を図るとともに、学納金についての相談体制を強化していきたい。また意欲ある学生の学ぶ機会を創出するために、次年度に向けて、入学金減免や奨学金等の検討を進めていきたい。	森ノ宮医療学園専門学校学生募集要項 森ノ宮医療学園専門学校学校案内
7-37-10 入学辞退者に対する授業料等の返還について適正に処理されているか	辞退する場合の連絡先や授業料の返還等について募集要項に明記し、迅速な対応を行う。	辞退者には辞退届を提出してもらい、授業料返還等の対応が円滑に遂行できるように体制を整えている。	現在までのところ、大きな問題は生じていないことから、現状の体制を維持発展させるように努めたい。	森ノ宮医療学園専門学校学生募集要項
7-37-11 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	学生募集に関するチームは、情報を一元化できるように編成しており、経理担当者も一員となっている。したがって学納金に関する情報も共有できる体制をとっており、適切な対応を目指す。	納付期限の時点で、経理担当から、入試担当部門に状況が報告され、学科ごとに集計できるシステムをとっている。	学納金サポート情報の提示が不十分であったが、今年度は相談があった場合の対応について体制整備を行った。今後も、わかりやすい提示方法を検討していく。	(入試事務室会議資料)

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金に関しては、受験生にわかりやすい情報提供を心がけている。また、学習環境や学生生活環境の整備を重視し、教育内容の充実を図っている。	教育ローンや奨学金制度等、学納金サポート情報の重要性が高まってきていると認識しており、学内での情報共有等も図って学生に適切な助言ができる体制を構築していきたい。

最終更新日付

平成 25 年 3 月 31 日

記載責任者

清水 尚道

基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中期的には、学校財務基盤は安定しており、予算・収支計画も妥当であり、適切な会計監査が行われ、財務情報公開も不十分ながら実施している。</p> <p>長期的には、学園外部環境の激しく流動的な変化に対応しうる余力は乏しいものの、リスクの大きい投資を一切せずに、着実に運営をしてきた実績は反映されていると判断する。</p>	<p>2 学科の専門学校が母体をなし、単科大学を開設して 7 年目の学校法人であり、財政規模は比較的小規模である。</p>

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	岩崎 光治
--------	------------------	-------	-------

8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-38-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	中長期的な学校の財務基盤の安定を第一に考える。	帰属収入が消費支出を上回り、中期的には安定要因が上回っている。	将来の建物建て替え等、中長期の構想に基づく、財務計画が必要と考える。	平成 23 年度事業報告書 平成 23 年度決算報告書
8-38-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握する。	主要な財務数値の推移は把握している。	数値推移から経営分析への過程へと精度を上げる必要がある。	平成 24 年度事業計画書 平成 24 年度予算計画書 平成 23 年度事業報告書 平成 23 年度決算報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財政基盤は中期的には安定している。長期的には学園外部環境の激変により、予測しえないリスクに対して、積極的な対策までは進んでいない。	学園規模が小さい。専門学校を母体とする学校法人が、大学を開学して 7 年目である。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	岩崎 光治
--------	------------------	-------	-------

8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-39-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとする。	年度予算は有効で妥当なものとなっている。中期計画は先を見込んで策定されている。		平成 24 年度予算計画書 平成 23 年度決算報告書 平成 24 年度事業計画書 平成 23 年度事業報告書
8-39-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	予算は計画に従って妥当に執行する。	計画的に執行されている。広報費についても、執行状況を反映させ、予算内に収まるよう予算執行が行われつつある。		平成 23 年度決算報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度ごとの予算の執行内容は妥当である。中期的には新規事業に見合う余力を保ち、流動的な執行を常に模索している。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	岩崎 光治
--------	------------------	-------	-------

8-40 財務について会計監査が適正に行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-40-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	財務について会計監査が随時適正に行われるべきである。	会計監査は、公認会計士のもと適正に行われている。また、監査役として常時理事会に出席されている。	より一層詳細精緻に実施する必要があるように思われる。	平成 23 年度監査報告書
8-40-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは計画的に行われるべきである。	外部会計監査は、会計監事と打ち合わせのもとに実施されている。	スケジュールにゆとりが十分あるとはいえない現状である。	平成 23 年度監査報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
会計監査は公正・適切であるといえる。さらに、内部監査および外部監査の実施を行う。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	岩崎 光治
--------	------------------	-------	-------

8-41 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-41-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	私立学校法における財務情報公開を実施する。	私立学校法における財務情報公開を実施している。	小項目まで公開する方向へ努力したい。財務数字の掲載だけでなく、詳細な解説も加えていきたい。	学校法人森ノ宮医療学園校友会報 森ノ宮医療学園専門学校 Web ページ
8-41-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	私立学校法における財務情報公開の形式を満たす。	校友会報や学園 Web ページでの公開を行っている。	より見やすく、図表も入れて工夫する必要がある。	学校法人森ノ宮医療学園校友会報 森ノ宮医療学園専門学校 Web ページ

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務情報について、適宜、積極的に公表していく体制を整えたい。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	岩崎 光治
--------	------------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校はあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律、柔道整復師に関する法律、及びあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師に係わる学校養成施設認定規則、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律施行規則に基づき教育活動を行っている。</p> <p>また、社会的にも法令遵守し適正な学校教育を行なっている。</p> <p>鍼灸師・柔道整復師の業務に関し法令遵守の精神を教育に取り入れ徹底を図っている。</p>	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-42-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	法令を遵守し、適切な学校運営を行う。	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営を実施している。		
9-42-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	教職員はもとより、学生に対しても法令遵守の啓発活動を実施する。	教職員研修会を実施している。学生に向けては医療概論や関係法規の授業中に行っている。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令遵守は当然であり、教職員はもとより、学生に対しても指導、周知を行っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-43-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられて	規程に基づき個人情報の保護に取り組む。	申請を行った教職員のみが個人情報に閲覧することができるなど、学校法人森ノ宮医療学園個人情報保護に関する規程に基づき、対策が取られている。	データ閲覧に権限を持たせている。加えて各 PC のジョブ履歴をとる等の対策が必要であろう。	学校法人森ノ宮医療学園個人情報保護に関する規程
9-43-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	教職員、学生に対する啓発を行っていく。	毎年、入学時オリエンテーションにて説明をし、「学生手帳」にも明記している。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の保護に関しては、いわゆる個人情報保護法の施行以来一層厳格さが求められている。本校においても、厳重に管理していきたい。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-44-5 自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善に努めているか	自己点検・自己評価は法令により義務付けられている。点検評価を本校の改善につなげていかなければならない。	これまでは数年に一度報告書を作成してきた。平成23年度分から、毎年自己点検・自己評価を行う体制が整った。	第三者評価の実施は努力目標とはいえ、出来る限り今後の実施に向け検討していく。	平成23年度自己点検・自己評価報告書
9-44-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	文部科学省作成の学校評価ガイドラインに従い、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構作成の様式にて実施する。	平成23年度からようやく自己点検・自己評価報告書の作成が軌道に乗って来た段階である。		
9-44-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	学内への周知を徹底する。学外へは学校関係者評価等の機会を利用する。	いまだ自己点検・自己評価は途に就いたばかりであるが、平成23年度の実績によりある程度全教職員に周知はできている。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の自己点検・自己評価はまだまだ十分な物とは言えず、今後は点検評価結果をいかに改善につなげていくかが課題である。将来の第三者評価にむけた体制の構築にも取り組んでいきたい。	

最終更新日付	平成25年3月31日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------	-------	-------

9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-45-8 自己点検・自己評価結果を公開しているか	自己点検・自己評価報告書を Web ページにて公表する。	本校 Web ページにて公表している。		
9-45-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	Web ページ上での積極的な公表を推進する。	平成 23 年度から自己点検・自己評価報告書や学校関係者評価報告書等等を Web ページにて公表している。		
9-45-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	積極的な公表とステークホルダーはもとより、外部有識者からの助言を積極的に受ける体勢作りを構築する。	学内への周知は徐々に進んでいる。	学外関係者への周知が今後の課題である。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成 23 年度から自己点検・自己評価の公表を達成できた。今後は公表の事実や方針を学外の関係者へ周知していくことが課題となろう。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	尾崎 朋文
--------	------------------	-------	-------

基準 10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は鍼灸師、柔道整復師関連団体との交流も深く、直接的、間接的にその分野での貢献度は非常に高いと考えている。ほぼ毎週、校舎内で研修や研究発表などが行われている。</p> <p>また、毎年1月に献血、通学路となる近隣の清掃を行うなど、11月に文化祭を行い、近隣住民の方々にも参加いただいたり、セミナーを一般市民へ積極的に公開したりすること等の活動により社会貢献の一助としている。</p>	<p>とりわけ、東北震災以降、各地で行われている避難訓練については、例外に漏れず、大阪市のモデル地区となるべく、地域、地元警察・消防署、区役所、医師会との連携による活動を行っている。</p>

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------

10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-46-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	各関係団体、地域と交流をしっかりと深める。	関係団体には、会場貸し等で協力。地域の合同避難訓練等への参加も行っている。		
10-46-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や雇用促進への支援を行っているか	学校の資源を活用し、生涯学習事業や雇用促進への支援を行うことを目標とする。	現役の小中高教員に対しては他にはない医療系ならではの研修授業を実施しており、一般の方向けの講習会も月に数度の割合で定期的実施している。		
10-46-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	緊急時の避難場所としての提供および受け入れ態勢を構築する。	大阪市と共同でモデル地区作りに参画している。地域住民の方の会議の場として利用している。		
10-46-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	米国及び中国の関係する病院等との連携を充実、発展する。	年に一度、任意参加ではあるが、在校生、卒業生を問わず研修会を実施している。 (米国・中国)	取得資格が諸外国によって異なっているため、研究・情報交換等、試行錯誤の段階である。	

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-46-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	教職員のみならず、学生に対しても課外活動的に実施する。	定期的ではないが、時々に応じて実施している。	教職員研修会の再開を検討していきたい。	
10-46-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	学校として重要な社会問題に具体的に取り組むことを重視する。	学校として重要な社会問題に取り組む必要を認識しているところであるが、成果を上げるに至っていないと思われる。	薬を使わない東洋医学。人の手で整復する徒手技術。これらを活かした活動の場は、国内のみならず、今後は海外にも目を向けて考える必要がある。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係団体等への会場貸しや、セミナーの開催等により業界団体を通じた社会貢献を行っている。また、一般向けのセミナーや地域との交流も活発に行っている。	

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------

10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-47-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	学生のボランティア活動を奨励、支援していく。	学校として清掃ボランティアはしているが、ボランティア募集のポスターを貼ることくらいしか出来ていない。	東北震災の例から、今後は学校として、医療者の現地派遣も考えていく必要があると考える。	
10-47-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	学生のボランティア活動の状況を組織的に把握していく。	学生のボランティア活動の状況を組織的に把握するに至っていない。	事後報告で情報が入ってくるので、事前調査等の必要性を認めるが、困難を極めている。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は比較的学生の年齢層が高いこともあり、これまでは積極的なボランティア活動の奨励は行ってこなかった。時代の変化に合わせて対応を考えていきたい。	学生の年齢層が高いこともあり、ボランティア意識は比較的高い。実際に活動している者も複数名居るようだが、あえて申告はしてこないのが現状である。

最終更新日付	平成 25 年 3 月 31 日	記載責任者	川鍋 史一
--------	------------------	-------	-------